

平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年3月12日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東  
 コード番号 3444 URL http://www.kikuchiseisakusho.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093  
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月17日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の連結業績(平成25年5月1日~平成26年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	4,195	1.9	△230	—	△153	—	△100	—
25年4月期第3四半期	4,117	△15.3	△120	—	14	△95.3	13	△88.7

(注) 包括利益 26年4月期第3四半期 8百万円(△93.5%) 25年4月期第3四半期 126百万円(43.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第3四半期	△27.09	—
25年4月期第3四半期	3.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第3四半期	8,480	5,368	63.3
25年4月期	8,284	5,434	65.6

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 5,368百万円 25年4月期 5,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	—	—	20.00	20.00
26年4月期	—	—	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日~平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,840	2.9	113	—	268	48.1	160	30.5	43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年4月期3Q	3,695,900株	25年4月期	3,695,900株
② 期末自己株式数	26年4月期3Q	104株	25年4月期	104株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年4月期3Q	3,695,796株	25年4月期3Q	3,695,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済政策や金融政策の効果を背景に、円安・株高が進行し、企業収益の改善が見られる等、景気は穏やかな回復傾向となりました。また新興国の一部で成長鈍化が見られたものの米国経済の堅調な動きに加え、欧州経済に持ち直しの兆しが見られたこと等により、全体として穏やかな回復景気となりました。

一方で、円安進行による原材料価格の上昇など国内景気の下振れ懸念があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループ製品が属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、多様な技術革新の必要性は変わらず、新製品への開発投資は一部製品において抑制傾向があるものの、依然として継続されております。当社グループは、これらのメーカーを顧客として、新規開発の試作品製造や新製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製作、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、新規開発試作品製造、金型製造、量産品製造全般で低水準での推移となりました。一方、介護・医療機器、新エネルギー関連分野において、ユニット・装置単位の受注が増加しております。また、中長期的な当社事業の成長に資するための研究開発活動として、マイクロフローデバイス技術や自立支援装具等をはじめとした介護・医療ロボットの研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,195百万円(前年同四半期比1.9%増)となり、利益面につきましては、売上総利益は567百万円(同12.3%減)、営業損失は230百万円(前年同四半期は営業損失120百万円)となりました。以下、東日本大震災にかかる東京電力株式会社からの受取補償金、スクラップ売却収入、受取配当金等の営業外収益133百万円(同31.8%減)を加算し、二本松工場遊休賃借費用、シンジケートローン手数料及び支払利息等の営業外費用55百万円(同8.2%減)を減じた結果として、経常損失は153百万円(前年同四半期は経常利益14百万円)となりました。

福島県川内村に新設しました工場に要した費用の一部として当初の予定通り福島県川内村からの補助金を受領し、特別利益115百万円を計上し、その受領した補助金を固定資産圧縮損として特別損失に104百万円計上いたしました。これに税金費用△42百万円を計上した結果、四半期純損失は100百万円(前年同四半期は13百万円の四半期純利益)となりました。

なお、平成24年6月6日に発表いたしましたとおり、当社オリジナル技術であるアルミホットダイカスト技術による量産品製造工場を福島県川内村に新設いたしました。当該工場開設に要した費用460百万円のうち、115百万円につき当初の予定通り、福島県川内村からの補助金を平成25年5月に受領しましたので、前述の通り、第1四半期連結会計期間で圧縮記帳の処理を実施いたしました。尚、残額については、今後、福島県への完了報告後補助金を受領となる見込みであり、当該補助金受領後、圧縮記帳をする予定です。

セグメントの概況を示すと、次のとおりです。

①試作・金型事業

携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカーを顧客としておりますが、一部企業の新機種開発への投資が低水準に留まり、当社業績も厳しい展開となりました。この結果、売上高は2,800百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業損失270百万円(前年同四半期は120百万円の営業損失)となりました。

②量産事業

携帯電話等の情報通信機器メーカーならびに事務機器メーカーの一部製品の生産活動が低調に推移したものの、当社業績は前年並みの受注を確保でき無難な推移となりました。この結果、売上高1,352百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益50百万円(同870.9%増)となりました。

③その他

ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア製品の販売等により、売上高は43百万円(前年同四半期比770.4%増)、営業損失11百万円(前年同四半期は5百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、8,480百万円となり、前連結会計年度末比195百万円の増加(前連結会計年度末比2.4%増)となりました。うち、流動資産は、3,912百万円となり、前連結会計年度末比111百万円の増加(同2.9%増)となりました。これは、現金及び預金が189百万円増加(同15.9%増)したことが主な要因となっております。固定資産は4,568百万円となり、前連結会計年度末比84百万円の増加(同1.9%増)となりました。

負債合計は、3,111百万円となり、前連結会計年度末比261百万円の増加(前連結会計年度末比9.2%増)となりました。うち、流動負債は、2,451百万円となり、前連結会計年度末比62百万円の増加(同2.6%増)となりました。これは、短期借入金が100百万円増加(同8.3%増)したことが主因となっております。固定負債は、660百万円となり、前連結会計年度末比198百万円の増加(同42.9%増)となりました。これは、長期借入金が175百万円増加(同183.0%増)したことが主因となっております。

純資産は、5,368百万円となり、前連結会計年度末比65百万円の減少(同1.2%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月期の通期業績予想は、平成25年6月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,196,774	1,386,642
受取手形及び売掛金	1,862,426	1,899,991
商品及び製品	90,963	223,929
仕掛品	113,139	116,435
原材料及び貯蔵品	153,472	169,634
繰延税金資産	—	36,169
その他	385,765	94,646
貸倒引当金	△1,040	△14,846
流動資産合計	3,801,500	3,912,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,265,743	2,482,450
減価償却累計額	△976,752	△1,043,072
建物及び構築物(純額)	1,288,991	1,439,378
機械装置及び運搬具	2,733,590	2,854,112
減価償却累計額	△1,474,045	△1,707,160
機械装置及び運搬具(純額)	1,259,545	1,146,952
土地	985,483	990,296
リース資産	4,705	4,767
減価償却累計額	△3,759	△3,973
リース資産(純額)	945	793
建設仮勘定	86,100	—
その他	454,048	517,800
減価償却累計額	△236,358	△337,421
その他(純額)	217,689	180,378
有形固定資産合計	3,838,755	3,757,800
無形固定資産		
ソフトウェア	25,829	20,031
その他	4,735	9,191
無形固定資産合計	30,565	29,223
投資その他の資産		
投資有価証券	510,803	663,599
繰延税金資産	2,320	2,424
その他	105,545	197,950
貸倒引当金	△4,591	△82,754
投資その他の資産合計	614,079	781,219
固定資産合計	4,483,399	4,568,242
資産合計	8,284,900	8,480,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	499,318	527,566
短期借入金	1,200,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	98,244	143,792
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	321,995	196,630
未払費用	105,479	91,921
未払法人税等	39,270	56,096
賞与引当金	58,453	53,045
繰延税金負債	16,850	—
その他	28,840	62,337
流動負債合計	2,388,451	2,451,390
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	96,061	271,830
退職給付引当金	9,367	10,052
役員退職慰労引当金	297,036	303,414
資産除去債務	8,118	8,193
繰延税金負債	26,928	52,338
その他	14,732	14,677
固定負債合計	462,244	660,506
負債合計	2,850,695	3,111,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,434	358,434
資本剰余金	252,594	252,594
利益剰余金	4,826,289	4,652,250
自己株式	△86	△86
株主資本合計	5,437,231	5,263,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,822	228,810
為替換算調整勘定	△149,849	△123,556
その他の包括利益累計額合計	△3,027	105,253
少数株主持分	—	500
純資産合計	5,434,204	5,368,947
負債純資産合計	8,284,900	8,480,844



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	4,117,459	4,195,902
売上原価	3,469,623	3,628,006
売上総利益	647,835	567,895
販売費及び一般管理費	768,018	798,818
営業損失(△)	△120,182	△230,922
営業外収益		
受取利息	136	149
受取配当金	8,577	10,455
助成金収入	20,868	8,697
スクラップ売却収入	27,517	23,056
受取補償金	126,720	75,356
その他	11,984	15,758
営業外収益合計	195,803	133,473
営業外費用		
支払利息	6,956	8,967
シンジケートローン手数料	7,531	7,041
設備賃借費用	363	363
二本松工場遊休賃借費用	32,652	32,652
その他	13,171	6,654
営業外費用合計	60,674	55,680
経常利益又は経常損失(△)	14,946	△153,128
特別利益		
固定資産売却益	—	153
受取補償金	38,299	—
補助金収入	—	115,000
特別利益合計	38,299	115,153
特別損失		
固定資産除却損	152	—
投資有価証券評価損	799	132
固定資産圧縮損	—	104,232
特別損失合計	952	104,364
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,293	△142,340
法人税、住民税及び事業税	11,051	16,928
法人税等調整額	27,635	△59,146
法人税等合計	38,686	△42,217
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	13,606	△100,122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,606	△100,122

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	13,606	△100,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,164	81,988
為替換算調整勘定	48,679	26,292
その他の包括利益合計	112,844	108,280
四半期包括利益	126,450	8,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,450	8,158
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成25年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,764,438	1,347,995	5,024	4,117,459	—	4,117,459
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,031	—	—	1,031	(1,031)	—
計	2,765,470	1,347,995	5,024	4,118,491	(1,031)	4,117,459
セグメント利益又は 損失(△)	△120,201	5,230	△5,373	△120,345	162	△120,182

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額162千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,800,117	1,352,054	43,730	4,195,902	—	4,195,902
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	975	—	—	975	(975)	—
計	2,801,093	1,352,054	43,730	4,196,877	(975)	4,195,902
セグメント利益又は 損失(△)	△270,127	50,784	△11,662	△231,005	82	△230,922

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント利益又は損失の調整額82千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。